

分割

Cドライブを分割して新たにDドライブを作る

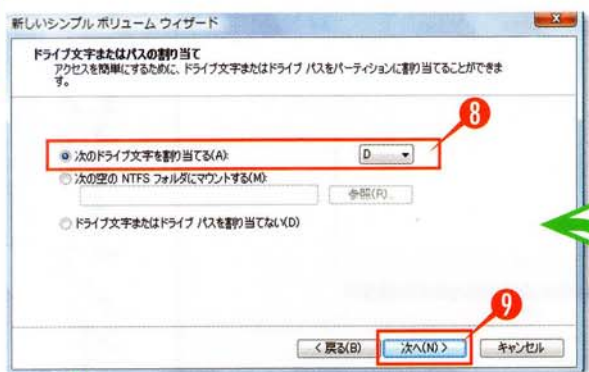


図4 ウィザードにしたがって進める。ドライブ文字の割り当てで⑧「D」を指定して⑨「次へ」をクリック。もし、指定できないときは「E」などの空いているドライブ文字を割り当てておき、あとで44ページ【ひと押し】の手順で「D」を割り当てる。

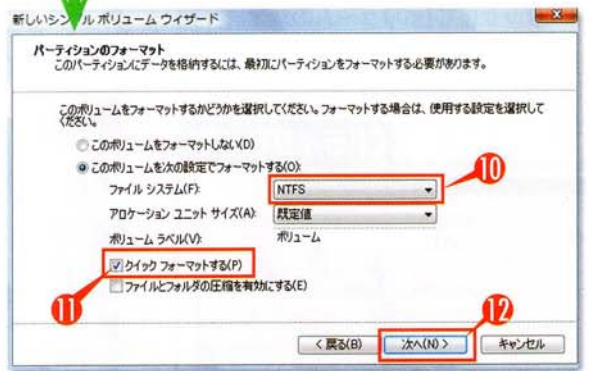


図5 フォーマット形式を選択する画面では⑩「NTFS」形式が選択されているのを確認する。⑪にチェックを入れると、短時間でフォーマットが終わる。⑫「次へ」をクリック。

[スタート]ボタン→[コンピュータ]を右クリックして[管理]を選択

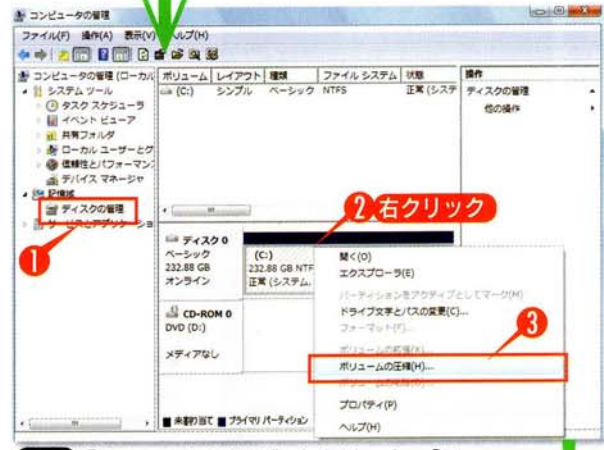


図1 ①「ディスクの管理」をクリック。「ディスク 0」の欄にある②「[C:]」と書かれた部分を右クリックして③「ボリュームの圧縮」(7は「ボリュームの縮小」)を選択。

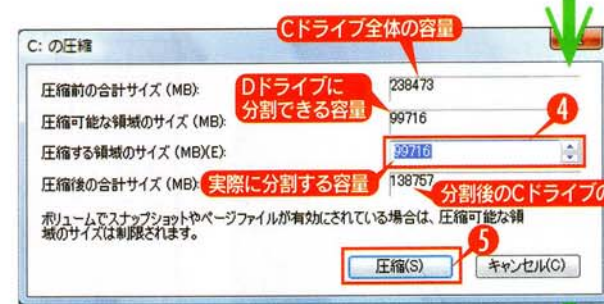


図2 ④分割する容量を確認。この容量が10GB(10000MB)程度しか取れない場合は、「整理&削除編」をやり直すか、写真や動画ファイルをいったん外付け HDD にバックアップするなどして、Cドライブの空き容量を増やしてから再度試す。⑤「圧縮」ボタンを押す。



図6 これでDドライブが作成される。[スタート]ボタン→[コンピュータ]を開いて、Dドライブが追加されているかを確認しよう。

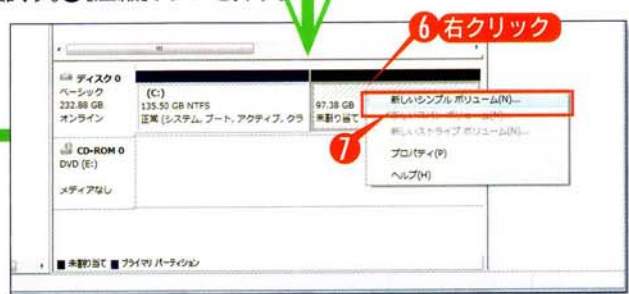


図3 処理が終わり【図1】の画面に戻ったら、「未割り当て」領域ができていますので、これを⑥右クリックして⑦「新しいシンプルボリューム」を選択する。

スタや7では標準で付属する「ディスクの管理」機能で新しいドライブを作成できる。ドライブを分割すると、HDD内に散らばったデータが自動で組み替えられる。保存してあるファイルは影響は受けないが、重要なファイルは念のため必ずバックアップしておこう。

ドライブの分割は「コンピュータの管理」画面にある「ディスクの管理」から行う。Cドライブを右クリックし「ボリュームの圧縮」(7では「ボリュームの縮小」)を選択すると【図1】、別ドライブに分割できる容量が自動的に算出される【図2】。この容量が10GB程度と少ない場合は、分割してもすぐにいっぱいになってしまうためDドライブを活用できない。30ページからの「整理&削除編」をやり直すか、45ページからの手順で、Dドライブに移動するデータのうちの容量の大きいファイル(写真やビデオ)を、いったん外付けHDDやDVDなどにバックアップし、Cドライブから削除して再び試そう。あとは、ウィザードにしたがってCドライブから切り離された「未割り当て」領域に新しいドライブを作成する【図3〜6】。「パーティションのフォーマット」で「クイックフォーマット」を選択すれば、通常数十分かかる作業が5分ほどで完了する。

Dドライブがリカバリ領域の場合は使用しない

メーカー製のパソコンのなかには、リカバリ用のディスクが付属せず、代わりにHDDに保存されたリカバリ領域から工場出荷状態に復元する製品がある。この領域を消してしまうと、リカバリができなくなってしまうので、絶対に消さないこと。

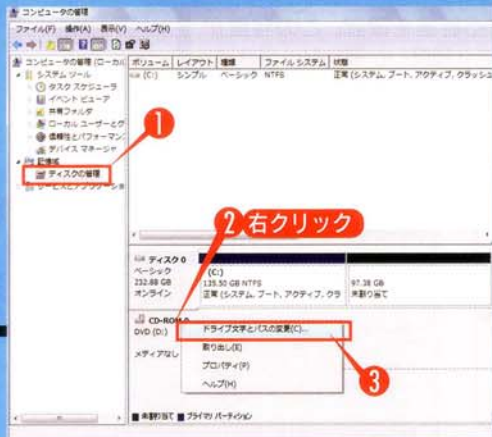
ボリューム	レイアウト	種類	ファイルシステム	状態
OS (C:)	シンプル	ベーシック	NTFS	正常 (EISA 構成)
RECOVERY (D:)	シンプル	ベーシック	NTFS	正常 (システム、ブート、ページファイル、アクティブ、クラッシュ)
				正常 (プライマリパーティション)

【図4】上の画面のように、「RECOVERY」などとなっているDドライブや、ドライブ文字が割り当てられていない「EISA 構成」などはリカバリに必要なのでそのままにしておく。

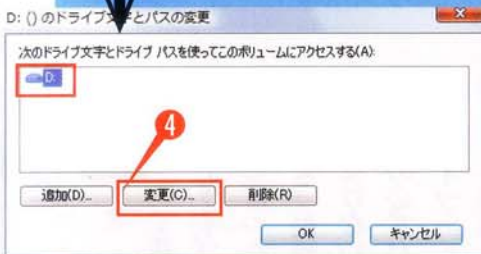


ドライブ文字を変更する

パソコンによっては、光学ドライブがDドライブとなっていることがある。その場合は「ドライブ文字とパスの変更」から、現在「D」となっている光学ドライブを別のドライブ文字に割り当ててから、新たに作成した領域を「D」に変更するといひ。

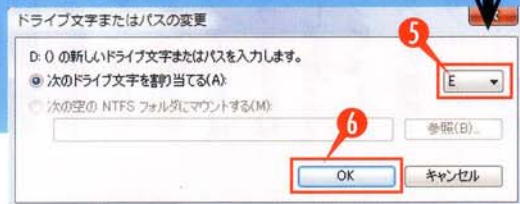


「コンピュータの管理」画面で①[ディスクの管理]を表示。②変更したいドライブを右クリックして③[ドライブ文字とパスの変更]を選択。

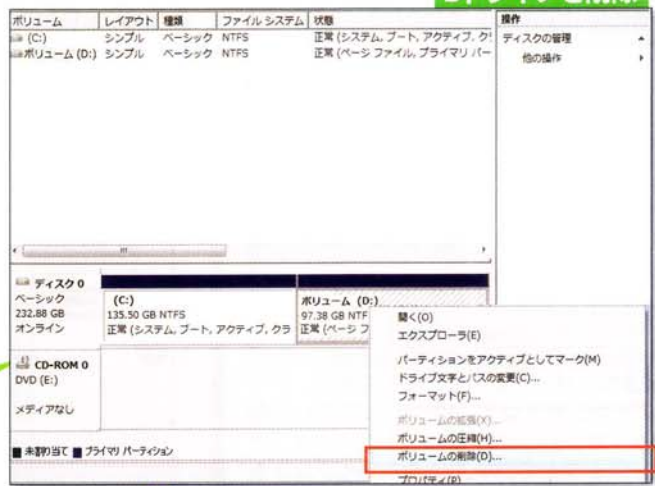


変更したいドライブが選択されているのを確認して④[変更]をクリック。

⑤新しいドライブ文字を選択して⑥[OK]をクリック。すでに割り当てられているドライブ文字は選択できない。再起動後に設定が変更される。

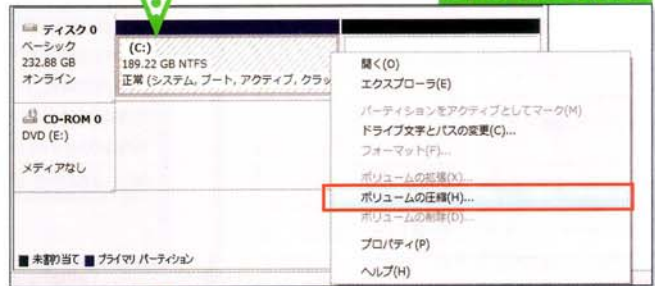


ドライブを削除



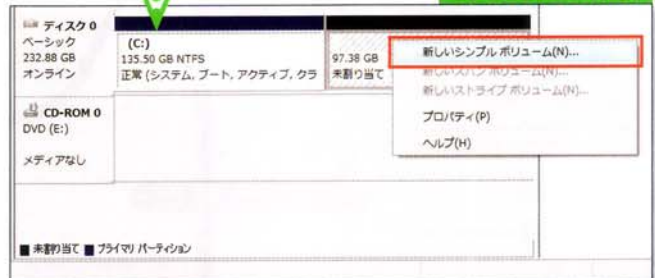
【図1】43ページの手順で「ディスクの管理」画面を開き、Dドライブを右クリックして[ボリュームの削除]を行う。Dドライブにデータがないか、リカバリ領域ではないかを必ず確認する。

ドライブを分割



【図2】Cドライブを右クリックして[ボリュームの圧縮]をクリック。43ページ【図2】の画面で容量を調整する。

ドライブを作成



【図3】Cドライブ以外の領域がひとつの「未割り当て」領域となるので、右クリックして[新しいシンプルボリューム]を選択する。その後43ページ【図4】からの手順でフォーマットを行う。

Dドライブを最適な容量に調整する

調整

すでにDドライブがあるパソコンの中には容量のバランスが悪いものもある。例えば160GBのHDDのうち、Dドライブが10GBしかない場合は、Cを減らしてDを増やすように容量を調整しよう。すでにあるDドライブを削除して【図1】、Cドライブを分割【図2】。すると、もとDドライブ部分とCドライブから分割された部分が「未割り当て」領域となるので、Dドライブに割り当てる【図3】。

ただし、容量を調整する際にDドライブの自身はすべて消えてしまうので、必ずバックアップしておこう。またDドライブに「リカバリ領域」が割り当てられている場合は、いじらずそのままにしておく【図4】。